

桜の開花宣言も靖国神社に担当者を派遣してよければ開花宣言となる。桜前線も気象庁がやる、今度はスーパーコンピューターを入れて線状降水帯の予知に使うとか

20年前退職を機に桜前線の旅に弘前あたりまで出かけようと思っていたが、なんと、間の悪いことか、脳内出血に見舞われ、退院した時は葉桜、初夏になっていた。

来年でも再来年でもいける。そう思ってまたそろそろ桜前線の旅をしようかと考え始めた。ところが、なんと今度は腰部脊柱管狭窄症に見舞われて手術する羽目になった。またお流れになった。

もういい、桜はもういい。「青葉の森」の舟田池にいこう。カイツブリが卵を抱く、雛を背中におんぶして泳ぐ、愛らしいカイツブリの子育てを見ていれば気持ちがなごむ。そうだ京都に行こう、じゃなくて「青葉の森」の舟田池に行こう。

ところが、あそこに行く最後の路を思い出すと、とても決行するきにならない。急坂の山道を下らなければならない、手すりなどない。現役のころはなんとも思わなかったが・・・

観察舎の望遠鏡ものぞくこともできない、ガックリ！

2024/2/29 桜前線 Hidekuro





開花宣言、東京は靖国神社にあるさくらが標本木となっている。この標本木は開花・満開の観測を行う、これが5, 6輪咲けば気象庁が開花宣言ということになる。

東京はこのほか各地に沢山の標本木があるようだ。たとえば、目黒川、上野恩賜公園、墨田川公園などいくつもある。標本木は全国に58か所あるとのこと。

だが、残念ながら我が千葉にはひとつもないようだ。

そこで提案があります。千葉といってもいささか広うござんす、ということで、東京のようにあちらこちらにつくるのは大変です。まずは千葉市がおこなっている花見川のディサービスを主体に考えるところなる。

まず、場所を決めるとディサービスに近い「こわしみず公園」がいいでしょう。次に開花宣言に必要な開花状態について決めねばならない、気象庁のように3輪さいてはじめて開花宣言をだすなどまどろこしい、なので千葉の場合は1輪咲けば開花宣言とする。

つぎに誰が千葉県を代表して宣言を出すか、この主体はディサービスとして行うものとする。

どうだろう、こんなことで実施できないものだろうか？

話は変わるが、

東京の千鳥ヶ淵のさくらは 悔しいが 見事なものだ。

開花宣言 24/3/20 Hidekuro



ここは こわしみず ではない